

～ 先輩からの声 ～



池元 成海（保健師）

2019年入庁

健康福祉部 中央保健センター

志望動機

私は県外出身ですが大学の教師から宇陀市の保健事業は活発で保健師活動をするには充実し勉強になると後押しがあり就職しようと考えました。また、生まれ育った地域と雰囲気が似ていることもありどこか懐かしい気持ちになりました。

担当業務

中央保健センターで成人保健担当（主に特定健診・がん検診・生活習慣病予防のための保健指導等）をしています。コロナ禍で健康への意識が高まる中で健（検）診受診の重要性を市民に伝えていくことや、感染対策をしながら安心して健（検）診受診することができる環境づくりも考えています。また、担当業務以外にも、母子保健やコロナワクチン関係、精神保健等幅広く携わっています。

やりがいについて

がん要精密検査になった方に電話や訪問で精密検査受診の勧奨をしています。その後、精密検査を受診された方が「早期にがんが見つかったよ！」「連絡くれて早く受診してよかったよ！ありがとう！」と感謝されたときは自分のことかのようにホッとしますし、仕事のモチベーションも上がります。

市職員のイメージは

保健師は学校や実習で学んでも実際働かなければイメージがわきにくい職種で、さらに公務員と言われると事務のイメージも多いかと思います。しかし、思っている以上に地域に出向いて、訪問や健（検）診、健康教育をしたりと市民さんと密に関わる機会が多いです。

受験者に向けて

面接や履歴書の作成では、自分の短所を長所に変換してポジティブに考えることを私は心がけていました。例えば、「おとなしい」を「聞き上手」「落ち着いている」「協調性がある」等。自分の短所も他人から見たら長所に見えることもあります。視点を変えて自分自身を見つめ直してみてください。また、他人からもたくさん意見を聞いてみてください。自分が知らないいろんなヒントをもらえます。受験だけでなく働いてからも役立つと思います。みなさんと一緒に働けることを楽しみにしています😊